

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0790400683	法人名	メディカル・ケア・サービス株式会社
事業所名	愛の家グループホームいわき下荒川	所在地	福島県いわき市平下荒川字誠町下44-1
自己評価作成日	令和5年2月11日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

<http://www.kai-go-fukushima.info/fukushima/Top.do>

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	
所在地	
訪問調査日	

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、 できていることをよく聞いており、信頼関係が 築かれています (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や 地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のよう 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の 関係者とのつながりが強がつたり深まり、事 業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした 表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない	66 職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけてい る (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う (参考項目:67)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安 なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う (参考項目:68)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔 軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどない		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】
お客様一人一人に適した介護計画を作成し、専門的な認知症ケアや自立支援(水分、栄養、運動)及びお客様の立場に生活援助サービスを提供します。又、ご家族との信頼関係を構築や地域の方々との連携、協力体制の充実を図り、地域に貢献できるような存在になるように努めます。
認知症ケアに特化した事業所として、安定的かつ継続的に安心・安全・質の高いサービスを提供して広く地域社会に貢献します。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

【令和5年度評価】

法人名：メディカル・ケア・サービス株式会社

事業所名（事業所番号）：愛の家グループホームいわき下荒川|
所在地：福島県いわき市平下荒川字諦訪下44-1

代表者：山本 敏雄

管理者：柿崎 洋子

運営推進会議を活用した事業所の評価日：令和5年3月18日

出席者：
地域包括支援センターアップル 薩谷裕子様 下荒川区長 小松 真一様
屋中祐子 渡部千晶 家族様 中井一恵様
小島恵子様 薩谷八重子様

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
1	理念・安心と安全に基づく運営						
2	事業所と地域とのつきあい	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	意思を尊重し、温かく笑顔あふれるホームを目標に掲げ、ご利用者やご家族に愛されるホームを目指している。認知症ケアに関して、お客様の立場に立ちより良い生活を追究していくよう真剣に取り組んでいる。	地域交流活動として、医療創生大大学生3名が来段。認知症の方の出来る事への取り組みに关心を持っていたらしく、ホーム周辺のゴミ拾いやハビリ体操に参加しています。また下荒川駅防下隣組に入り、地域行事へ参加している。	コロナ感染症が広まる前は、フランクチームの訪問や、中学生の職場体験を受け入れている。事業所の夏祭り、クリスマス会、避難訓練、防災訓練等、地域、家族の方々に参加してもらっている。	法人の理念を基に、あるべき姿を全員で話し合い、どうすれば実現できるかを考え目標を作成している。朝礼時に唱和、研修時に理念の確認を行っている。笑顔で対話し、日常生活を通じて、利用者の要望に応えられるよう職員が常に利用者目標で考えている。
3	運営推進会議を活用した取り組み	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見を見をサービス向上に活かしている	定期的(1回/2か月)に開催し、下荒川区長や平包装センター、ご家族の方に出でかけている。家族会への参加や地域活動への積極的な参加取り組みの要望をもらっている。いただいたい意見や要望を運営に反映してもらっている。	リハビリ体操への参加や行政への河川工事の要望、地域清掃への参加について意見をいただいている。家族会への参加や地域活動への積極的な参加取り組みの要望をもらっている。いただいたい意見や要望を運営に反映してもらっている。	リハビリ体操への参加や行政への河川工事の要望、地域清掃への参加について意見をいただいている。家族会への参加や地域活動への積極的な参加取り組みの要望をもらっている。いただいたい意見や要望を運営に反映してもらっている。	
4	市町村との連携	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じて、市町村担当窓口に訪問している。市町村主催の研修には積極的で、日常的に連絡・相談をしている。コロナ対策や、加算に関する情報、民間のイベントや力については協力している。	介護報酬の加算や日々の運営に関する相談。運営推進会議に関しての助言をもらうなど、日常的に連絡・相談をしている。コロナ対策や、加算に関する情報、民間のイベントや	介護報酬の加算や日々の運営に関する相談。運営推進会議に関しての助言をもらうなど、日常的に連絡・相談をしている。コロナ対策や、加算に関する情報、民間のイベントや	

5 身体拘束をしない ケアの実践	代表者および全ての職員が介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束や不適切なケアの研修を2か月に1回実施している。毎月ケアのチェックを行っている。身体拘束防止委員会を発足し、3か月に1回委員会を開催しホーム内の施錠を行わないケアを実践している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の会議の協賛など、民官一体の地域づくりをしてほしいと考えている。
6 虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	身体拘束や不適切なケアの研修を2か月に1回実施。毎月ケアのチェックを行っている。社内のコンプライアンス委員会による社内けん責の告知を行っている。身体拘束防止委員会を発足し、3か月に1回委員会を開催しホーム内の施錠を行わないケアを実践している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束が高齢者虐待に該当する行為として考え、身体拘束しないことを原則にしている。事業所で、身体拘束が行われる事は、被拘束者の権利が侵害される事と考えている。身体拘束に代わる介護方法の模索を計画的に進めている。
7 権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	認知症介護実践者研修の参加や、他の研修への参加、ホームでの研修を実施している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症介護実践者研修の参加や、その他研修への参加、ホームでの研修を実施している。
8 契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居契約の際、重要事項説明書や契約書の内容を十分に説明し、理解納得して頂いている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約の際、重要事項説明書や契約書の内容を十分に説明し、理解納得していただいている。
9 運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族来所時は生活面、体調面を伝え、意見等を反映している。ご家族に本社で行っているCSアンケートを基に意見を反映している。また運営推進会議においてご家族との意見交換を実施している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族との面会や、ZOOMの使い方に付けて、意見や要望を貢献している。玄関先に意見箱を設置し、定期的なアンケート調査を行って、意見を出してもらうようにしている。いたいた意見や要望は、ユニット会議、全体会議、運営推進会議で情報を共有するようにしている。
10 運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議、ユニットリーダー会議、ユニット会議で職員の意見を運営に反映している。また日常的に豊富な対話により相互通信を深めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニットの人員配置、教育、環境整備、行事、感染症対策に関して意見や提案が出されている。人員は入居者の状況に応じて適切な配置になり、職員による研修実施、

				定期的な環境整備の日の設定、季節ごとの行事などに反映・改善されている。
11.	就業環境の整備、職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアアップ制度を活用し定期面談を実施3、6、9、12月にスタッフとのヒヤリング及び評価を行い、職員一人一人の悩みや、目標悩みや、目標等を聞く機会を設けている。
12.	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させて取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間計画を作成し、各自に合った研修を実施している。外部研修や社内研修、エリアでの研修に参加している。資格取得制度や資格手当により職員のやる気、スキルアップを図る。
13.	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症介護研修やグループホーム協議会を通じて他事業所や同業者との交流を図っている。
14.	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないと、支撐に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様と馴染みの関係を築き、共に意思を尊重しあえる関係を築いている。
15.	II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お盆やお彼岸に家族と墓参りや、馴染みの美容室、自宅の様子を見に行くなど、一人ひとりの生活習慣を大切にしている。昔よく行った、自宅近くの桜の花見ドライブ、懐かしい阿弱陀堂へ行く等、利用者の大切な場所と人の関係継続を支援している。

17 計画ヒモニタリング	チームでつくる介護計画ヒモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やマイティアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人・ご家族と話し合い、現状に即した介護計画を作成し満足いただけるように配慮している。また定期的なモニタリングを実施し担当者会議を実施し情報の共有を行っている。	
18 個別の記録と実践への反映	個人の様子やケアの実践・結果・気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子やケアの実践・結果・気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに反映できている。	介護計画に沿って、生活の様子を記録し職員間で共有し、その方に沿ったケアに反映できている。	
19 ための事業所の多機能化	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	通院など可能な限りスタッフが同行し、本人や家族の不安や負担をできる限り軽減できるように努めている。健康新たに安心して生活ができるように、医療機・他事業所との連携体制を整えている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
20 地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を發揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域に根差したホームつくりを目標として、様々な形で地域活動に参加できるよう働きに働きかけている。ホームに入居しても地元へ貢献できる活動を実施している。	地域に根差したホームつくりを目標とし、様々な形で地域活動に参加できるよう働きかけている。ホームに入居しても地域へ貢献できる活動を実施している。
21 かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、紹介が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	協力医療機関より【2回/月】訪問して頂き、ホームドクターとしての役割を担っていただき安心できる医療が提供されている。	地域に根差したホームつくりを目標とし、様々な形で地域活動に参加できるよう働きかけている。ホームに入居しても地域へ貢献できる活動を実施している。
22 入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるよう、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医療機関との連携が保てるように、随時情報交換し、状況にあつた支援ができるようにしている。	医療機関との連携が保てるように、随時情報交換し、状況にあつた支援ができるようにしている。
23 重度化や終末期における方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方にについて早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所できることを十分に説明している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居前から重度化した場合における指針、終末期の在り方についてご家族様と話し合いをして、受け入れてもらっている。	家族との会話の中から定期的なモニタリングし担当者会議を実施し、計画作成担当者と職員が中心になり、ご利用者・ご家族・主治医と話し合い、より良い日常生活に繋がる計画を作っている。状態変化に応じ、医師と相談し本人・家族と話し合い臨機応変に見直している。

	ながら方針を共有し、地域の関係者と共に チームで支援に取り組んでいる		
24. 急変や事故発生時 の備え。	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社内研修において全職員が普通救命講習を受講し、緊急時の対応についての知識習得に取り組んでいる。定期的にホーム内の研修を実施している。
25. 災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回以上の避難訓練の実施。その都度出た問題点を検証し次に活かしていくよう定期的に安全管理に努めている。災害時の緊急備品を整備している。
III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
26. ひとりの尊重 とプライバシーの 確保	日々のその人らしい暮らしを大切にし、希望に沿うる。一人ひとりの尊厳、個々にあった対応を心がけている。プライバシーに配慮し、異性の介助を好みない方は、同性介助を実施している。	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人を尊重し、個々にあった対応を心がけている。プライバシーに配慮し、異性の介助を好みない方は、同性介助を実施している。
27. 食事を楽しむこと のできる支援	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。
28.	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者一人一人の嗜好を考え、できるだけ旬な食材を使い季節感を感じてもらえるような食事の提供、また目にも工夫し提供している。一緒に調理や片付けを行い、イベント食や宅配の利用なども行っている。
29. 栄養摂取や水分確 保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理栄養士が栄養バランスや季節に応じた献立を作成している。また、定期的に嗜好調査を実施し、食べたいものを提供することも行っている。
30.	口腔内の清潔保持	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一日3回の口腔ケアを実施。一人一人に合わせて実施している。H30年12月より口腔衛生管理体制加算を導入し歯科医師、歯科衛生士の指導の下、ご利用者様の健康管理に努めている。

31 排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のバターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便器の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の排泄バターンを把握し、必要である場合に限り、排泄介助を行っている。又、排泄のサインを見逃さず、バイバーに配慮した、排泄介助を行っている。	自立支援ケアを実施、自然排便ができるように取り組み支援している。
32 入浴を楽しむこと ができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまはずに、個々にそつた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の希望があれば入浴を実施。時間などをきめず、本人の希望に沿って提供している。	全員ではないが、ご利用者様の希望時間やタイミングに合わせ個々に沿った支援をしている。
33 安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方一人一人の就寝時間や起床時間が合わせ対応している。又、その方にあった寝具を使用することにより、安全や安眠の確保を行っている。	その方一人一人の就寝時間や起床時間に合わせ対応している。又、その方にあった寝具を使用することにより、安全や安眠の確保を行っている。
34 服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	薬剤師による訪問薬剤管理指導を導入し、薬のセットティングや医師との連携を取り、服薬、安全な服薬管理を行っている。	薬剤師による訪問薬剤管理指導を導入し、薬のセットティングや医師との連携を取って頂き、その方に役割や生きがいを持って安全な服薬管理を行っている。
35 役割・楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるよう、一人ひとりの生活圏や力を活かして、たの役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の持っている能力に合わせ、できることが行っていたいたいている。洗濯や調理、掃除、趣味活動などを行っていたとき、その方に役割や生きがいを持って生活している。	その方の持っている能力に合わせ、できることを行っていたいたいている。洗濯や掃除、趣味活動などを行っていたとき、その方に役割や生きがいを持って生活して頂いている。
36 日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう、支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩や買い物など日常的に外出できるよう支援しています。またドライブや行事での外出事での外出などへの参加等を行っている。	散歩や買い物など日常的に外出できるよう支援している。またドライブや行事での外出などへの参加等を行っている。
37 お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持し、使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近くのスーパー等に同行し、本人が買い物できるように支援している。	可能な限り実施している。
38 電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族様の了承を得て、ご希望に応じ自由にやり取りできるよう支援している。またZOOMなども活用している。	ご家族様の了承を得て、ご希望に応じ自由にやり取りできるよう支援している。またZOOMなども活用している。

39 居心地のよい共用 空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内で季節感を味わえるように季節に合った装飾をし、居室や共同スペースの清潔保持と過ごしやすい快適な温度調整・湿度調整・温度設定を行っている。
40	本人主体の暮らし方の意向に沿った暮らし方ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内で季節感を味わえるように季節に合った装飾をし、居室や共同スペースの清潔保持と過ごしやすい快適な温度調整・湿度調整・温度設定を行っている。
41	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いを尊重し、食べ物や飲み物、本人の欲しいものなどがある場合は一緒に買い物に出かけ楽しむ。お酒やタバコ等、本人が望むことなどを自己決定できるように働きかけている。
42	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。
43	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様との良好な関係を構築し、その方の些細な変化に気づくように努めている。
44 生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができるいる	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の個性を大切にし、その方にとって何が大切かを考え、パーソンセナードケアを実施している。
45	本人は、自分の馴染みの物や、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
	本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができることできないこと、わざわざすることを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
48	本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わる機会や交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

【令和5年度評価】

法人名：メディカル・ケア・サービス株式会社

事業所名（事業所番号）：愛の家グループホームいわき下荒川
所在地：福島県いわき市平下荒川字諏訪下44-1

代表者：山本 敦雄

管理者：柿崎 洋子

運営推進会議を活用した事業所の評価日：令和5年3月18日
出席者：地域包括支援センター 薩谷裕子様 下荒川区長 小松 真一様
屋中 祐子 渡部 千晶 家族様 中井一恵様
小島 恵子様 薩谷 八重子様

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあつた内容	外部評価	記述
I 理念、安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	意思を尊重し、温かく笑顔あふれるホームを目指し掲げ、ご利用者やご家族に愛されるホームを目指している。認知症ケアに関して、お客様の立場に立ちより良い生活を追究していくよう真剣に取り組んでいる。	地域交流活動として、医療創生大大学生3名が来園。認知症の方の出来る事への取り組みに关心を持っていただき。ホーム周辺のゴミ拾いやハビリ体操に参加しています。また下荒川調査下障組に入り、地域行事へ参加している。	意思を尊重し、温かく笑顔あふれるホームを目指し掲げ、ご利用者やご家族に愛されるホームを目指している。認知症ケアに関して、お客様の立場に立ちより良い生活を追求していくよう真剣に取り組んでいる。	法人の理念を基に、あるべき姿を全員で話し合っている。朝礼時に唱和、研修会を開催している。笑顔で対話し、日常生活を通じて、利用者の要望に応えられるよう職員が常に利用者目線で考えている。
2	事業所と地域とのつきあい	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見を見をサービス向上に活かしている	定期的(1回/2か月)に開催し、下荒川区長や平包装センター、ご家族の方に出席していただき、意見や助言をいただいている。いただいた意見や要望を運営に反映してもらっている。	リハビリ体操への参加や行政への河川工事の要望、地域清掃への参加について意見をいただいている。家族会への参加や地域活動への積極的な参加取り組みの要望をもらっている。いただいた意見や要望を運営に反映してもらっている。
3	市町村との連携	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要に応じて、市町村担当窓口に訪問している。市町村主催の研修には積極的に参加し、ケアの質の向上に努めている。また市町村からの調査やその他の協力については協力している。	介護報酬の加算や日々の運営に関する相談。運営推進会議に開いての助言をもらうなど、日常的に連絡・相談をしている。コロナ対策や、加算に関する情報、民間のイベントや	介護報酬の加算や日々の運営に関する相談。運営推進会議に開いての助言をもらうなど、日常的に連絡・相談をしている。コロナ対策や、加算に関する情報、民間のイベントや	

			地域の会議の協賛など、民官一体の地域づくりをしてほしいと考えている。	地域の会議の協賛など、民官一体の地域づくりをめまいとを考えている。
	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束や不適切なケアの研修を2か月に1回実施している。毎月ケアのチェックを行っている。身体拘束禁止委員会を発足し、3か月に1回委員会を開催しホーム内の施錠を行っている。	身体拘束が高齢者虐待に該当する行為として考え、身体拘束はしないことを原則にしている。事業所で、身体拘束が行われる事は、被拘束者の権利が侵害される事と考えている。身体拘束に代わる介護方法の摸索を計画的に進めている。
虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束や不適切なケアの研修を2か月に1回実施。毎月ケアのチェックを行っている。社内のコンプライアンス委員会による社内けん責の告知を行っている。身体拘束禁止委員会を発足し、3か月に1回委員会を開催しホーム内の施錠を行わないケアを実践している。
権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を關係者と話し合って、それらを活用できるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症介護実践者研修の参加や、その他の研修への参加、ホームでの研修を実施している。
契約に関する説明と納得	契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を得ている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居契約の際、重要事項説明書や契約書の内容を十分に説明し、理解納得して頂いている。
運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご家族来所時は生活面、体調面を伝え、意見等を反映している。ご家族に本社で行っているCSアンケートを基に意見を反映している。また運営推進会議においてご家族との意見交換を実施している。
運営に関する職員の意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭との面会や、ZOOMの使い方について、意見や要望を貢献している。玄関先に意見箱を設置し、定期的なアンケート調査を行い、意見を出してもらうようにしている。いたいたい意見や要望は、ユニット会議、全体会議、運営推進会議で情報を共有するようにしている。

11.	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパス制度を活用し定期面談を実施3、6、9、12月にスタッフとのヒヤリング及び評価を行い、職員一人一人の悩みや目標を持って職場環境・条件の整備に努めている。
12.	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実感と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年間計画を作成し、各自に合った研修を実施している。外部研修や社内研修、エリアでの研修に参加している。資格支援制度や資格手当により職員のやる気、スキルアップを図る。
13.	同業者との交流を通じて向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交渉する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症介護研修やグループホーム協議会を通じて他事業所や同業者との交流を図っている。
14.	本人と共に過ごす支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	認知症介護研修やグループホーム協議会を通じて他事業所や同業者との交流を図っている。
15.	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないと、支撐に努めている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	お盆やお彼岸に家族と駆け参りや、馴染みの美容室、自宅の様子を見に行くなど、一人ひとりの生活習慣を大切にしている。昔よく行った、自宅近くの花見ドライブ、懐かしい阿弥陀堂へ行く等、利用者の大切な場所と人との関係継続を支援している。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
16.	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々のかかわりの中での声掛けや表情から思いを推測し、意向の把握に努めている。家族や親戚、知人の来訪時に、これまでの暮らしぶりを聞いている。嗜好品や行きたい場所、着たい服や食べたいもの等出来る限り実現させている。

定期的な環境整備の日の設定、季節ごとの行事などに反映・改善されている。

チームでつくる介護計画ヒモニタリング	<p>本人がより良く暮らすための課題ピケアのあり方について、本人・家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>日々の様子やケアの実践、結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>ご本人・ご家族と話し合い、現状に即した介護計画を作成し満足いただけるよう配慮している。また定期的にモニタリングを実施し担当者会議を実施し情報の共有を行っている。</p>
個別の記録と実践への反映	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p>	<p>本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>通院など可能な限りスタッフが同行し、ご本人やご家族の不安や負担をできる限り軽減できるように努めている。健康新たに安心して生活ができるように、医療連携・世事業所との連携体制を整えている。</p>
地域資源との協働	<p>かかりつけ医の受診支援</p>	<p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるよう支援している</p>	<p>(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>地域に根差したホームづくり目標として、様々な形で地域活動に参加できるよううに働きかけている。ホームに入居しても地域へ貢献できる活動を実施している。</p>
入退院時の医療機関との協働	<p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるよう、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関との連携が保てるように、随時情報交換し、状況にあた支援ができるようになっている。</p>	<p>(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない</p>	<p>家庭の要望により主治医を変更するときは、訪問診療が可能な病院を提案している。訪問診療が必要ないときは、通院となっている。主治医以外の通院は家族対応となっているが、家族の都合で職員が通院介助し、受診結果は電話/FAXで知らせている。</p>

24.	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的にを行い、実践力を身に付けている	ながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	
25.	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を確立している	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
	III. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
26.	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	日々のその人らしい暮らし	一人ひとりの尊厳とプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	
27.	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人を尊重し、個々にあった対応を心がけている。プライバシーに配慮し、異性の介助を好みない方は、同性介助を実施している。	
28.	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。
29.	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
30.	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(A) 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
			る。協力機関とも情報を共有し支援体制を整えている。 社内研修において全職員が普通救命講習講習を受講し、緊急時の対応についての知識習得に取り組んでいる。定期的にホーム内で一回以上の避難訓練の実施。その都度都度出た問題点を検証し次に活かしていくよう年2回以上の避難訓練の実施。その都度出た問題点を検証し次に活かしていくよう年2回以上の避難訓練の実施。その都度出た問題点を検証し次に活かしていくよう年に安全管理に努めている。災害時の緊急備品を整備している。 社会研修において全職員が普通救命講習を受講し、緊急時の対応についての知識習得に取り組んでいる。定期的にホーム内で一回以上の避難訓練の実施。その都度都度出た問題点を検証し次に活かしていくよう年2回以上の避難訓練の実施。その都度出た問題点を検証し次に活かしていくよう年に安全管理に努めている。災害時の緊急備品を整備している。 利用者様の希望があれば、ドライブや買い物等が出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。 利用者一人一人の嗜好を考え、できるだけ旬な食材を使い季節感を感じてもらえるような食事の提供、見た目にも工夫し提供している。一緒に調理や片付けを行い、イベント食や宅配の利用なども行っている。 管理栄養士が栄養バランスや季節に応じた献立を作成している。また、定期的に嗜好調査を実施し食べたいものを提供することも行っている。	
			自立支援ケアを実施 1日の水分量、摂取カロリーをデータ化し管理している。 一日3回の口腔ケアを実施。一人一人に合わせて実施している。H30年12月より口腔衛生管理体制加算を導入し歯科医師、歯科衛生士の指導の下、ご利用者様の健康管理に努めている。	

91 排泄の自立支援	排泄の失敗やおもづの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の排泄パターンを把握し、必要である場合に限り、排泄介助を行っている。又、排泄のサインを見逃さず、ナライバシーに配慮した、排泄介助を行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
92 入浴を楽しむことができる支援	入浴を楽しむことで入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそつた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人の希望があれば入浴を実施。時間をなどをきめず、本人の希望に沿って提供している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
93 安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその日々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個人の希望があれば入浴を実施。時間をなどをきめず、本人の希望に沿って提供している。	その方一人一人の就寝時間や起床時間に合わせ対応している。又、その方にあった寝具を使用することにより、安全や安眠の確保を行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
94 服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師による訪問薬剤管理指導を導入し、薬のセッティングや医師との連携を取って頂き、安全な服薬管理を行っている。	その方一人一人の就寝時間や起床時間に合わせ対応している。又、その方にあった寝具を使用することにより、安全や安眠の確保を行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
95 役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活勢や力を活かし役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その方の持っている能力に合わせ、できることが行っていたいたいている。洗濯や調理、掃除、趣味活動などを行っていたとき、その方に役割や生きがいを持って生活している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
96 日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	散歩や買い物など日常的に外出できるよう支援しています。またドライブや行事での外出などの外出などへの参加等を行っている。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
97 お金の手持いや使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を手持し、使えるように支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	近くのスーパー等に同行し、本人が買い物できるように支援している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
98 電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様の了承を得て、ご希望に応じ自由にやり取りできるよう支援している。またZOOMなども活用している。	ご家族様の了承を得て、ご希望に応じ自由にやり取りできるよう支援している。またZOOMなども活用している。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

39	居心地のよい共用 空間づくり	植物内部は一人ひとりの身体機能やわから力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまぬぐような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホーム内で季節感を味わえるように季節に合った装飾をし、居室や共同スペースの清潔保持と過ごしやすい快適な温度調整・湿度設定を行っている。
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いを尊重し、食べ物や飲み物、本人の欲しいものなどがある場合は一緒に買いたい物等にかけられ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけられ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。
42	本人の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人様との良好な関係を構築し、その方の些細な変化に気づくように努めている。
43	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	一人一人の個性を大切にし、その方にとて何が大切なを考え、パーソンセンタードケアを実施している。
44	生活の継続性	本人は、自分の馴染みの物や、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人にとって大切な物、馴染みの物に囲まれ生活していたみたいている。
45	本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。	利用者様の希望があれば、ドライブや買い物等に出かけ、毎日がご本人にとって充実した一日になるよう支援している。

46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている
47		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わる機会や交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	栄養バランスと水分摂取に関して、水分摂取や摂取カロリーや栄養成分など明確な目標が設定されていない。	個人差はあるが、水分摂取量1500cc以上、植物性蛋白質摂取、1500kcal以上とし、常食化を目指します。	自立支援介護を実施する。水分摂取量1500cc以上、たんぱく質を多く含む食事とビタミンミネラルをバランスよく摂取していただく。	12ヶ月
2	43	下剤に頼らず自然排便が出来るようになる。	薬に頼らず、自然排便が出来るようになる。	水分摂取量と食事、栄養バランスのを考えた食事と、一人ひとりに合わせた週3回以上の立位運動や歩行運動を実施する。	12ヶ月
3		避難訓練を実施しているが、地域の方に参加して頂けていない。	地域の人へ参加を要請していき、協力を得られるような体制を整える。	・防災訓練の案内を地域住民へお知らせする。 ・運営推進会議での参加要請。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

(注)項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。